平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年８月９日

上 場 会 社 名	ＡＯＣホールディングス株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	5017	URL	http://www.aochd.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)取締役社長	(氏名)関屋　文雄	
問合せ先責任者	(役職名)ＩＲ・広報部長	(氏名)伊藤　秀樹	(TEL)(03)5463-5065
四半期報告書提出予定日	平成24年８月10日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	183,243	23.7	△10,464	―	△11,288	―	△20,661	―
24年３月期第１四半期	148,189	6.3	1,951	―	1,342	―	1,325	―

（注）　包括利益　　25年３月期第１四半期　△19,307百万円(－%)　　24年３月期第１四半期　　2,210百万円(－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年３月期第１四半期	△267　58	―
24年３月期第１四半期	17　17	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	345,432	74,995	21.7
24年３月期	409,950	94,766	23.1

（参考）　自己資本　　25年３月期第１四半期　74,900百万円　　24年３月期　94,676百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年３月期	―	0　00	―	6　00	6　00
25年３月期	―				
25年３月期(予想)		0　00	―	6　00	6　00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期(累計)	369,000	13.1	△4,900	―	△6,500	―	△15,300	―	△198　14
通期	728,000	3.8	2,900	△45.1	300	△77.0	△8,300	―	△107　49

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	78,183,677株	24年３月期	78,183,677株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	966,016株	24年３月期	966,016株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	77,217,661株	24年３月期１Ｑ	77,217,661株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.３「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

［概況］

当第１四半期連結累計期間における原油価格（ドバイ原油）は、期初１バレルあたり約120ドルで始まりましたが、石油需給の緩和や欧州における信用危機問題の深刻化などを背景に下落し、６月下旬には一時的に、平成23年1月以来となる90ドルを下回る水準となりました。この結果、期中平均は約106ドルとなりました。

また、期初83円台で始まった円の対米ドル相場は、米国経済関係指標が総じて悪化したことや欧州信用危機問題の深刻化などの影響により、期を通じて概ね円高傾向で推移しました。この結果、期中平均は約80円となりました。

当第１四半期連結累計期間の業績は、こうした環境の悪化に加え、後述する上流事業プロジェクトに係る特別損失の計上により、下記のとおりとなりました。売上高は1,832億43百万円（前年同期比23.7%増）、営業損失は104億64百万円（前年同期は営業利益19億51百万円）、経常損失は112億88百万円（前年同期は経常利益13億42百万円）、四半期純損失は206億61百万円（前年同期は四半期純利益13億25百万円）であります。

［セグメント別概況］

石油上流事業（石油・ガス開発／販売事業）

アラビア石油㈱は、クウェイト石油公社との長期原油売買契約に基づき、日量34.5千バレルの原油を販売しました。同社の子会社であるNorske AEDC AS(NAEDC)は、ノルウェー領北海のギダ油田（５％権益保有）において原油の生産を行っており、日量0.1千バレルの権益原油を販売しました。

また、再開発案件である同国領北海のイメ油田(NAEDCが10%権益保有）では、生産設備の工事が遅延しているため、同油田のオペレーター（操業主体）であるTalisman Energy Norge ASからの情報収集に努めるとともに、今後の同プロジェクトの進め方について検討しています。

一方、アラビア石油㈱がオペレーターとして石油開発事業を進めているエジプト・スエズ湾のノースウェスト・オクトーバー鉱区（50%権益保有）においては、開発計画の見直しに加え、昨年来のエジプトの国内情勢等により生産開始は遅れています。同社は、引き続き同国の政治情勢や事業リスク等の情報収集、分析につとめるとともに、同鉱区操業パートナーであるエジプト石油公社と開発計画について協議を継続し、事業着手のタイミングを慎重に検討しています。

エンジニアリング・技術サービス事業につきましては、クウェイトにおける原油随伴水の処理および工業的有効利用の調査、他社石油・ガス上流プロジェクトへの技術サービスの提供および技術者派遣などを実施し、また、中東を中心とする海外における技術スタディ、他社プロジェクトへの技術サービス提供を目指し、受注活動を継続しています。

石油上流事業の売上高は、販売数量の減少や原油価格の下落などにより、前年同期に比して45億61百万円減少し、258億65百万円となりました。セグメント損失（経常損失）は、前年同期に比して７百万円改善の４億87百万円となりました。ただし、セグメント別四半期純損失は、開発プロジェクト２案件の状況を踏まえ下記特別損失を計上した結果、前年同期比89億49百万円悪化の95億47百万円となりました。

イメ油田に係る固定資産の減損	79億82百万円
（税金還付予定額を相殺した実質損失額）	（48億６百万円）
ノースウェスト・オクトーバー鉱区に係る損失引当	40億73百万円
特別損失合計	120億55百万円

石油下流事業（石油精製／販売事業）

当第１四半期連結累計期間における富士石油㈱袖ケ浦製油所の原油処理量は、前年同期に比して540千KL増の2,055千KL、石油製品及び石油化学製品等の販売数量は483千KL増の2,016千KLとなりました。原油処理量、販売数量ともに、前期に小規模定期修理を実施したことから前年同期を上回りました。

石油下流事業の売上高は、販売数量の増加などにより、前年同期に比して396億15百万円増収の1,573億77百万円となりました。セグメント損失（経常損失）は、原油価格の大幅な下落に起因する在庫影響の悪化や製品マージンの縮小などにより、前年同期に比して126億56百万円悪化し、108億11百万円とな

りました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比して552億84百万円（21.1％）減少し、2,064億42百万円となりました。主な要因は、原油価格の大幅な下落などによるたな卸資産の減少353億50百万円や受取手形及び売掛金の減少117億17百万円であります。

（固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末に比べ92億33百万円（6.2％）減少し、1,389億89百万円となりました。主な要因は、イメ油田に係る固定資産の減損などによる建物及び構築物の減少66億３百万円および同減損に伴う繰延税金資産の計上33億21百万円、ノースウェスト・オクトーバー鉱区に係る探鉱開発投資勘定引当金の計上40億73百万円であります。

（流動負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ476億27百万円（19.1％）減少し、2,020億13百万円となりました。主な要因は、原油価格の大幅な下落などによる買掛金の減少419億40百万円であります。

（固定負債）

固定負債は、前連結会計年度末に比べ28億81百万円（4.4％）増加し、684億23百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加27億46百万円であります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ197億71百万円（20.9％）減少し、749億95百万円となりました。主な要因は、四半期純損失の計上206億61百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

前回（平成24年5月14日発表）と比較して原油価格が下落していること及び当第１四半期連結累計期間における上流部門の開発プロジェクトに係る特別損失計上等を勘案して、第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しました。

通期平均で、原油価格（ドバイ原油）を100ドル／バレル、為替レートを82円／ドルと想定しております。

売上高は、第２四半期連結累計期間につきましては3,690億円、通期につきましては7,280億円となる見通しです。

第２四半期連結累計期間につきましては、上流部門における特別損失計上等に加えて下流部門における在庫影響の悪化等の減益要因が重なり、営業損失49億円、経常損失65億円、四半期純損失153億円となる見通しです。

下期におきましては、下流部門における一部製品のマージン改善等を見込んでいることから、通期の業績につきましては、営業利益29億円、経常利益3億円、当期純損失83億円となる見通しです。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,185	16,125
受取手形及び売掛金	98,194	86,476
有価証券	886	139
たな卸資産	122,151	86,801
未収入金	9,128	3,827
繰延税金資産	1,403	1,084
その他	12,775	11,987
流動資産合計	261,726	206,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,886	21,282
油槽（純額）	2,167	2,274
機械装置及び運搬具（純額）	38,733	36,883
土地	51,083	51,083
建設仮勘定	208	446
その他（純額）	269	278
有形固定資産合計	120,348	112,249
無形固定資産		
ソフトウエア	1,444	1,307
その他	32	30
無形固定資産合計	1,476	1,338
投資その他の資産		
投資有価証券	10,768	10,705
長期貸付金	5,578	5,420
長期預金	1,374	1,346
探鉱開発投資勘定	4,192	4,073
繰延税金資産	2,688	6,136
その他	2,195	2,193
貸倒引当金	△400	△400
探鉱開発投資勘定引当金	－	△4,073
投資その他の資産合計	26,398	25,402
固定資産合計	148,223	138,989
資産合計	409,950	345,432

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,329	37,388
短期借入金	100,470	100,396
1年内返済予定の長期借入金	18,382	14,005
未払金	24,711	19,059
未払揮発油税	19,746	24,819
未払法人税等	129	116
貸付契約関連費用引当金	149	121
その他	6,721	6,105
流動負債合計	249,641	202,013
固定負債		
長期借入金	47,358	50,105
繰延税金負債	10,445	10,452
退職給付引当金	3,371	3,328
役員退職慰労引当金	275	217
特別修繕引当金	2,118	2,114
修繕引当金	937	1,131
貸付契約関連費用引当金	49	31
その他	985	1,042
固定負債合計	65,542	68,423
負債合計	315,183	270,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	57,215	57,215
利益剰余金	20,429	△695
自己株式	△1,239	△1,239
株主資本合計	100,874	79,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△64	△390
土地再評価差額金	2	2
為替換算調整勘定	△6,135	△4,461
その他の包括利益累計額合計	△6,197	△4,848
少数株主持分	90	94
純資産合計	94,766	74,995
負債純資産合計	409,950	345,432

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	148,189	183,243
売上原価	144,767	192,245
売上総利益又は売上総損失（△）	3,421	△9,002
探鉱費	167	28
販売費及び一般管理費	1,303	1,433
営業利益又は営業損失（△）	1,951	△10,464
営業外収益		
受取利息	24	26
受取配当金	22	83
持分法による投資利益	101	－
為替差益	71	29
タンク賃貸料	52	53
その他	49	37
営業外収益合計	321	230
営業外費用		
支払利息	725	757
持分法による投資損失	－	48
タンク賃借料	42	45
その他	161	203
営業外費用合計	929	1,054
経常利益又は経常損失（△）	1,342	△11,288
特別利益		
国庫補助金	9	－
固定資産売却益	1	－
特別利益合計	11	－
特別損失		
固定資産除却損	18	0
減損損失	－	7,982
探鉱開発投資勘定引当金繰入額	－	4,073
特別損失合計	18	12,055
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	1,336	△23,344
法人税、住民税及び事業税	74	1
法人税等調整額	△70	△2,690
法人税等合計	4	△2,688
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,331	△20,656
少数株主利益	5	5
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,325	△20,661

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	1,331	△20,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△325
為替換算調整勘定	791	1,295
持分法適用会社に対する持分相当額	149	378
その他の包括利益合計	878	1,349
四半期包括利益	2,210	△19,307
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,204	△19,312
少数株主に係る四半期包括利益	5	5

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	石油・ガス開発／販売事業	石油精製／販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,426	117,762	148,189	―	148,189
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	30,426	117,762	148,189	―	148,189
セグメント利益又は損失(△)	△495	1,844	1,348	△5	1,342

(注)１　セグメント利益又は損失(△)の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去196百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△201百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	石油・ガス開発／販売事業	石油精製／販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,865	157,377	183,243	―	183,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	25,865	157,377	183,243	―	183,243
セグメント損失(△)	△487	△10,811	△11,299	10	△11,288

(注)１　セグメント損失(△)の調整額10百万円には、セグメント間取引消去180百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

２．　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「石油・ガス開発/販売事業」セグメントにおける減損の兆候が認められた資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しています。

なお、当該減損損失の計上額は、当第１四半期連結累計期間においては7,982百万円です。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。